

「夢・挑戦・飛躍」テーマ 袋井陸協・シンボルマーク

袋井市陸上競技協会のシンボルマークとマスケットキャラクターが出来上がり、本年度の総会でお披露目された。

二〇二〇年に迎えた創立二十周年記念事業として制作。静岡文化芸術大（浜松市中央区）デザイン学部から募集し、三年生の大石海帆さん（三）のデザインが採用された。大石さんによると、シンボルマークは「夢・挑戦・飛躍」をテーマに、前に突き進み、飛び跳ねる躍動感を表した。キャラクタ



シンボルマークを配置した新しい協会旗の前で、マスケットキャラクター「ホッパー」のパネルを持つ大石海帆さん＝袋井市で

ターの「ホッパー」は、競技場を駆け抜ける風雲児を表現。袋井市と森町それぞれのイメージカラーである緑色とえんじ色を配色した。

シンボルマークは協会旗はじめ、大会で掲示する横断幕やのぼり旗などに使用。キャラクターはパネルやキーホルダーなどのグッズとして展開する。

大石さんは「陸上競技に励む選手たちの背中を押せるようなデザインになればうれしい」と話した。

（牧田幸夫）